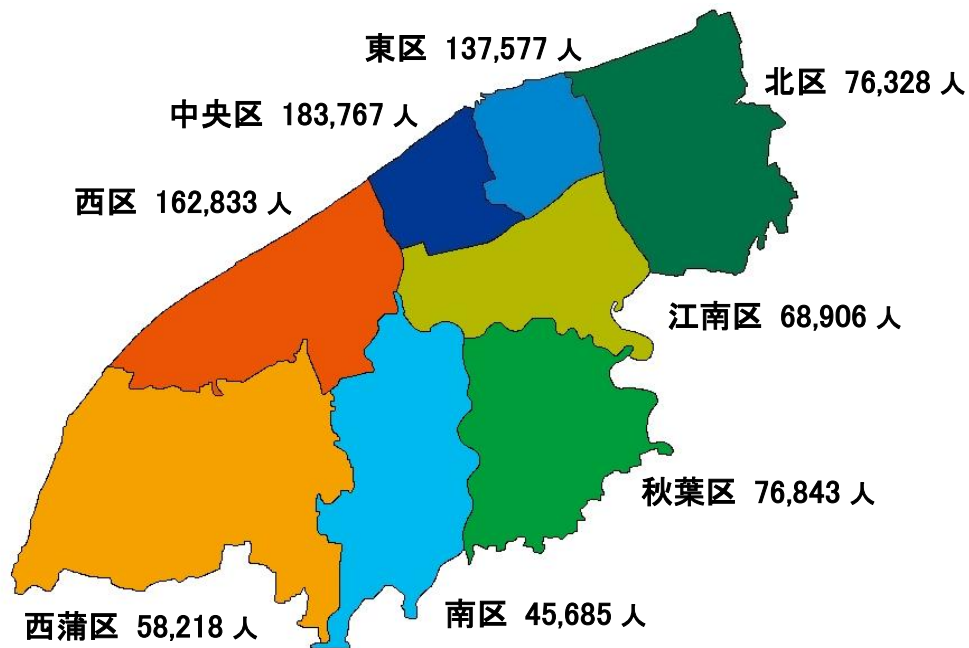


# 平成 27 年国勢調査

## 人口等基本集計結果の概要

### 平成 27 年国勢調査 新潟市の調査結果(確報)

人口	810,157 人	(22 年調査と比べ 1,744 人、0.2% 減少)
世帯数	321,511 世帯	(22 年調査と比べ 8,978 世帯、2.9% 増加)



このパンフレットは、平成 27 年 10 月 1 日現在で実施された「平成 27 年国勢調査」について、総務省統計局から公表された人口等基本集計結果を基に、新潟市に関する結果をまとめたものです。

国勢調査は、我が国の最も重要で基本的な統計調査で、大正 9 年の第 1 回調査以来ほぼ 5 年ごとに実施されており、今回の平成 27 年国勢調査は第 20 回目となります。

新潟市

## ご利用にあたって

本書は、平成 28 年 10 月 26 日に公表された「平成 27 年国勢調査結果」(総務省統計局)の「人口等基本集計」をもとに加工して作成したものです。

新潟市は平成 13 年 1 月 1 日に黒埼町と、平成 17 年 3 月 21 日に 12 市町村(新津市、白根市、豊栄市、小須戸町、横越町、亀田町、岩室村、西川町、味方村、潟東村、月潟村、中之口村)、平成 17 年 10 月 10 日に巻町と合併しています。平成 17 年国勢調査以前の結果については、特に断りのない限り、黒埼町、12 市町村、巻町を含めた現在の市域に組み替えて掲載しています。

新潟市の政令市への移行は平成 19 年 4 月 1 日からですが、平成 17 年調査以前のデータについても、可能な限り行政区ごとのデータを掲載しています。

なお、その際は新潟市の集計によるもので、総務省統計局の公表結果とは異なる場合があります。

数字の単位未満の端数については、四捨五入しているため、内訳の合計が総数と一致しないこともあります。

統計表中の符号の用法は次のとおりです。

- 「－」 皆無
- 「0」 単位未満
- 「…」 不詳
- 「△」 負数

## 目 次

人口の推移	1
行政区別人口	2
年齢別人口	3
世帯の状況	4
家族類型	6
高齢世帯	7
配偶関係	8
配偶関係(行政区別)	9
外国人	10
新潟県内の人口	11
政令市の人口・世帯数	12
政令市の年齢 3 区分別の人口割合	13

## 人口の推移

### 新潟市の人口は810,157人、平成22年から1,744人減少

平成27年国勢調査による10月1日現在の新潟市の総人口は810,157人で、22年の前回調査から1,744人の減少となりました。大正9年の調査開始以来、増え続けた人口は、平成22年、27年と連続で減少しました。

一方、世帯数は過去最多となりました。

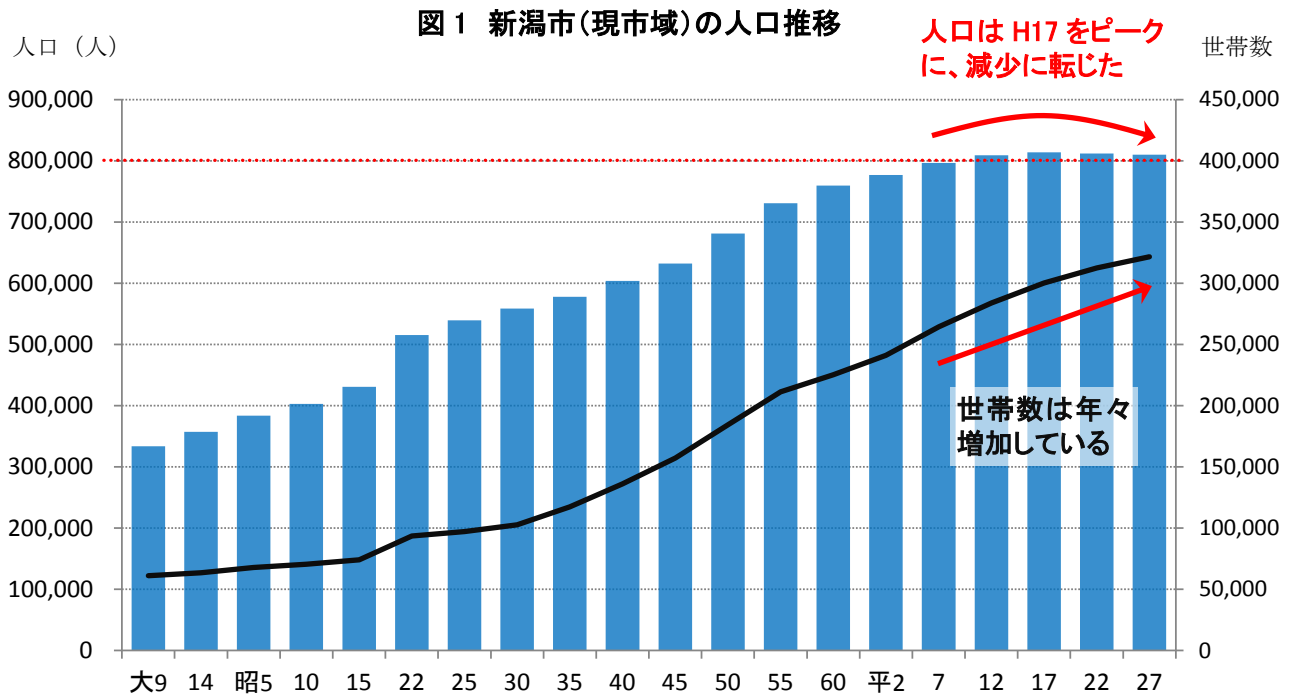


表1 新潟市(現市域)の人口と世帯数の推移

年次	人 口					世帯数
	総数	男	女	対前回増減数	対前回増減率(%)	
大正 9年	333,746	162,754	170,992	—	—	61,010
14	357,231	175,001	182,230	23,485	7.0	63,507
昭和 5年	383,678	188,170	195,508	26,447	7.4	67,851
10	403,038	197,366	205,672	19,360	5.0	70,410
15	430,985	212,027	218,958	27,947	6.9	74,061
22	515,243	247,528	267,715	84,258	19.6	93,473
25	539,175	261,334	277,841	23,932	4.6	97,242
30	558,517	270,344	288,173	19,342	3.6	102,739
35	577,706	279,168	298,538	19,189	3.4	117,231
40	603,733	293,110	310,623	26,027	4.5	136,134
45	631,923	305,587	326,336	28,190	4.7	157,222
50	681,108	330,975	350,133	49,185	7.8	184,471
55	730,733	356,926	373,807	49,625	7.3	211,323
60	759,568	369,337	390,231	28,835	3.9	225,126
平成 2年	776,775	375,965	400,810	17,207	2.3	240,985
7	796,456	386,198	410,258	19,681	2.5	264,324
12	808,969	391,891	417,078	12,513	1.6	283,793
17	813,847	392,525	421,322	4,878	0.6	300,139
22	811,901	390,406	421,495	△1,946	△0.2	312,533
27	810,157	389,512	420,645	△1,744	△0.2	321,511

## 行政区別人口

### 人口は中央区が最も多く、南区が最少

平成 27 年の行政区別の人口を見ると、中央区が 183,767 人で全市の 22.7%を占めて最も多く、西区 162,833 人(20.1%)、東区 137,577 人(17.0%)が続いています。

人口が最も少ない区は南区で 45,685 人(5.6%)、次に西蒲区 58,218 人(7.2%)、江南区 68,906 人(8.5%)となっています。

また、平成 22 年の北区の人口は秋葉区より多かったものの、平成 27 年には秋葉区が北区を上回りました。

人口の推移を見ると、平成 17 年から平成 22 年の間では、中央区、江南区、秋葉区、西区の 4 区が増加しました。

平成 22 年から平成 27 年の間では、増加したのは中央区と西区の 2 区のみで、増加した人数は中央区 3,230 人、西区 1,569 人、増加率はそれぞれ 1.8%、1.0%となりました。

人口が減少した 6 区で最も減少したのは西蒲区で△2,522 人、続いて北区△1,293 人、南区△1,264 人。増加率が最も低いのは西蒲区で△4.2%、南区△2.7%、北区△1.7%でした。

人口密度は、中央区が 4,868.0 人/ km<sup>2</sup>と最も高くなっており、最も低いのは西蒲区で、329.8 人/ km<sup>2</sup>となりました。

図 2-1 行政区別人口(H27)の割合

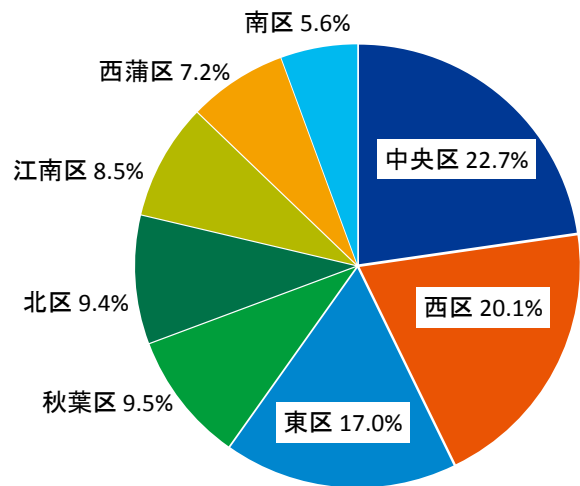


図 2-2 行政区別人口(H17~H27)の推移

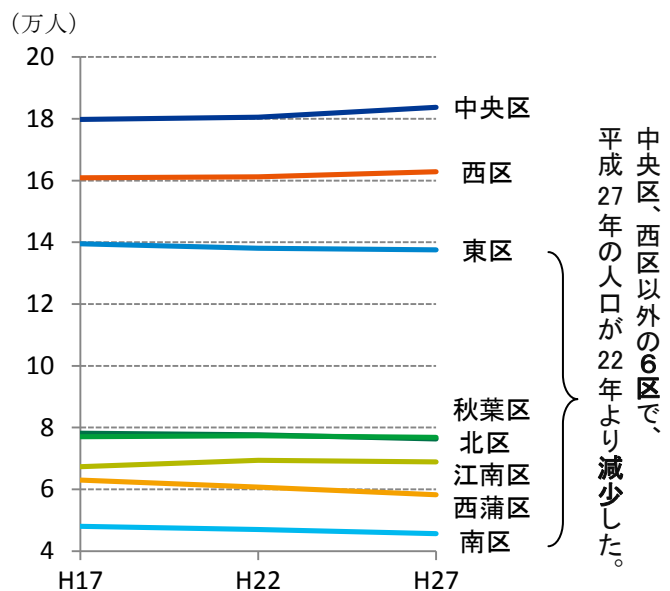


表 2 行政区別人口

	新潟市	北 区	東 区	中央区	江南区	秋葉区	南 区	西 区	西蒲区
H17 人口	813,847	78,173	139,565	179,784	67,353	77,050	48,054	160,910	62,958
H22-H17 増減	△1,946	△552	△1,469	753	2,012	279	△1,105	354	△2,218
H22 人口	811,901	77,621	138,096	180,537	69,365	77,329	46,949	161,264	60,740
H27-H22 増減	△1,744	△1,293	△519	3,230	△459	△486	△1,264	1,569	△2,522
H27 人口	810,157	76,328	137,577	183,767	68,906	76,843	45,685	162,833	58,218
男	389,512	36,973	66,001	87,721	33,407	36,689	22,068	78,714	27,939
女	420,645	39,355	71,576	96,046	35,499	40,154	23,617	84,119	30,279
H27 世帯数	321,511	27,070	55,550	88,506	23,677	26,898	14,583	66,860	18,367
H27-H22 増減	8,978	1,020	1,103	3,101	714	757	470	1,605	208
面積(km <sup>2</sup> )	726.45	107.72	38.62	37.75	75.42	95.38	100.91	94.09	176.55
人口密度 (人/ km <sup>2</sup> )	1,115.2	708.6	3,562.3	4,868.0	913.6	805.7	452.7	1,730.6	329.8

面積は国土交通省国土地理院が公表した「平成 27 年全国都道府県市区町村別面積調」による。

## 年齢別人口

### 65歳以上は20万人を超え、総人口の4分の1以上となる

年齢3区分別人口を見ると、平成27年の15歳未満は98,367人(12.2%)、15歳～64歳は488,815人(60.8%)、65歳以上は217,107人(27.0%)となりました。

15歳未満の人口は昭和60年から、15歳～64歳の人口は平成12年から減少しているのに対し、65歳以上の人口は年々増え続け、平成27年は昭和40年の6.3倍となりました。

また、65歳以上の割合は15歳未満の割合を平成12年に上回り、平成27年は27.0%にのぼりました。

図3 年齢3区分別人口割合の推移（昭和40年～平成27年） (%)

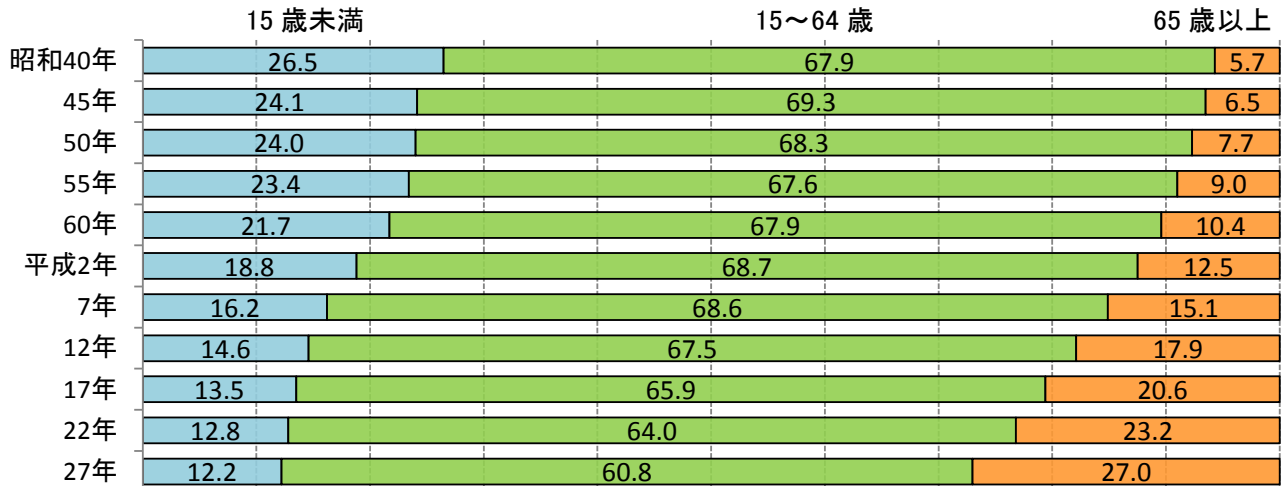


表3-1 年齢(3区分)別人口の推移（昭和40年～平成27年）

年次	人 口				年齢別割合(%) 2)		
	総数 1)	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
昭和 40年	603,733	159,740	409,641	34,352	26.5	67.9	5.7
45	631,923	152,370	438,167	41,386	24.1	69.3	6.5
50	681,108	163,418	465,084	52,502	24.0	68.3	7.7
55	730,733	170,831	494,026	65,538	23.4	67.6	9.0
60	759,568	164,500	515,834	79,115	21.7	67.9	10.4
平成 2年	776,775	145,809	532,316	96,913	18.8	68.7	12.5
7	796,456	129,120	546,361	120,408	16.2	68.6	15.1
12	808,969	118,109	544,300	144,179	14.6	67.5	17.9
17	813,847	109,251	534,104	166,995	13.5	65.9	20.6
22	811,901	103,346	516,311	187,371	12.8	64.0	23.2
27	810,157	98,367	488,815	217,107	12.2	60.8	27.0

1) 年齢「不詳」を含む。 2) 年齢「不詳」を除いて算出。

表3-2 区別年齢(3区分)別人口（平成27年）

年次	人 口				年齢別割合(%) 2)		
	総数 1)	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
北 区	76,328	9,270	45,800	20,806	12.2	60.4	27.4
東 区	137,577	17,319	83,111	36,356	12.7	60.8	26.6
中央区	183,767	20,886	114,710	45,324	11.5	63.4	25.1
江南区	68,906	9,100	40,714	18,897	13.2	59.3	27.5
秋葉区	76,843	9,771	44,480	22,381	12.8	58.0	29.2
南区	45,685	5,493	27,459	12,593	12.1	60.3	27.6
西区	162,833	20,013	98,506	43,124	12.4	60.9	26.7
西蒲区	58,218	6,515	34,035	17,626	11.2	58.5	30.3

1) 年齢「不詳」を含む。 2) 年齢「不詳」を除いて算出。

## 世帯の状況

### 世帯数は増加し、32万世帯を超えた

平成27年国勢調査による新潟市の総世帯数は321,511世帯で、平成22年に比べ8,978世帯増加しました。

総世帯のうち、一般世帯の世帯数は321,028世帯で、世帯人員は790,163人。

施設等の世帯(寮、病院、社会施設等)は483世帯、世帯人員(施設の入所者数)は19,994人となりました。

また、一般世帯における1世帯当たりの世帯人員は昭和60年に3.3人で、年々減少を続け、平成27年は2.5人となりました。

図4 世帯数の推移 (昭和60年～平成27年)

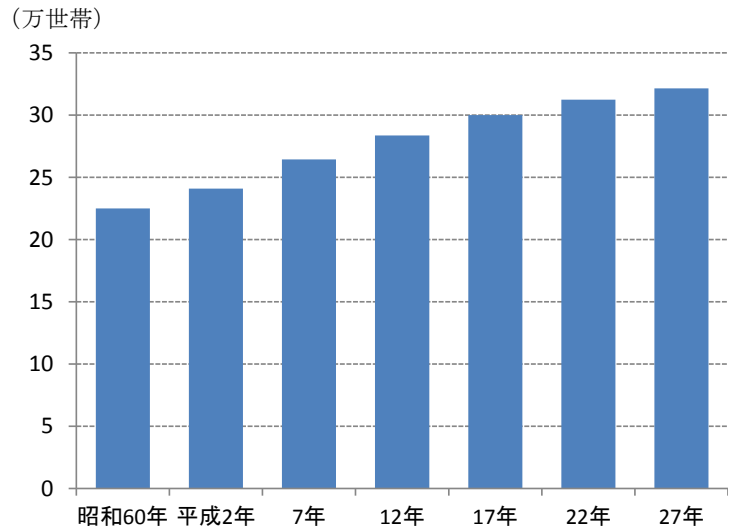


表4 世帯の種類別世帯数及び世帯人員の推移

年次	世帯数 総数 1)	一般世帯			施設等の世帯	
		世帯数	世帯人員(人)	1世帯当たり 人員(人)	世帯数	世帯人員(人)
昭和 60年	225,126	224,808	750,149	3.3	212	9,300
平成 2年	240,985	239,218	764,804	3.2	221	10,237
7年	264,324	263,585	785,280	3.0	264	10,626
12年	283,793	281,424	794,146	2.8	260	12,442
17年	300,139	296,554	794,681	2.7	339	15,669
22年	312,533	312,159	794,780	2.6	374	17,121
27年	321,511	321,028	790,163	2.5	483	19,994

1) 世帯の種類「不詳」を含む。

### 1人世帯が10万世帯を超え、一般世帯における割合は約3分の1になった

一般世帯を世帯人員別に見ると、1人世帯(単独世帯)が103,981世帯(32.4%)と最も多く、初めて10万世帯を超えました。次いで多いのが2人世帯の84,623世帯(26.4%)、3人世帯の59,246世帯(18.5%)となっており、世帯人員が3人以下の世帯が全体の77%を占めています。

これを平成22年と比較すると、1人世帯は8,476世帯、2人世帯は4,453世帯、3人世帯は112世帯それぞれ増加しました。一方、4人以上の世帯は4,172世帯減少しています。

図5 一般世帯における世帯人員別割合の推移 (昭和60年～平成27年)

(%)

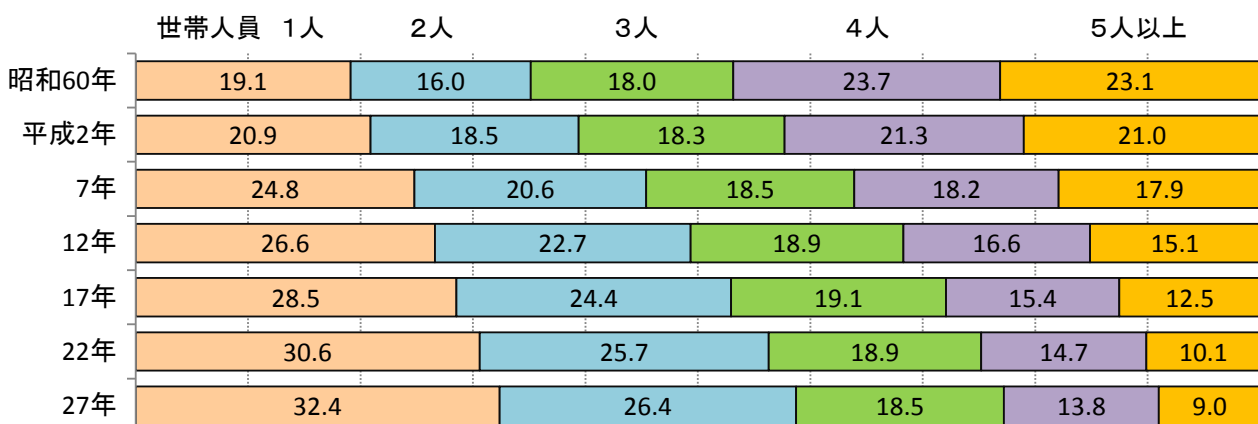


表 5-1 一般世帯における世帯人員別世帯数の推移（昭和 60 年～平成 27 年）

年次	一般世帯					
	総数	世帯人員1人	2人	3人	4人	5人以上
	実数					
昭和 60 年	224,808	43,043	35,952	40,498	53,325	51,990
平成 2 年	239,218	50,009	44,237	43,735	51,002	50,235
7	263,585	65,286	54,319	48,857	47,882	47,241
12	281,424	74,837	64,023	53,253	46,806	42,505
17	296,554	84,407	72,449	56,702	45,809	37,187
22	312,159	95,505	80,170	59,134	45,799	31,551
27	321,028	103,981	84,623	59,246	44,298	28,880
	割合 (%)					
昭和 60 年	100.0	19.1	16.0	18.0	23.7	23.1
平成 2 年	100.0	20.9	18.5	18.3	21.3	21.0
7	100.0	24.8	20.6	18.5	18.2	17.9
12	100.0	26.6	22.7	18.9	16.6	15.1
17	100.0	28.5	24.4	19.1	15.4	12.5
22	100.0	30.6	25.7	18.9	14.7	10.1
27	100.0	32.4	26.4	18.5	13.8	9.0

**1人世帯の割合が最も高い区は中央区、1世帯当たりの人員が最も多い区は西蒲区**

一般世帯における世帯人員別の世帯数を区別で見ると、1人世帯の割合は、中央区が 46.0%と最も高く、続いて西区 34.8%、東区 30.5%でした。一方、5人以上の世帯の割合は、西蒲区が 18.1%で最も高く、次に南区 17.5%、最も低い区は中央区 4.3%となりました。

1世帯当たりの人員が最も多い区は西蒲区で 3.1人、続いて南区 3.0人、最も少ないのが中央区で 2.0人でした。

表 5-2 一般世帯における世帯人員別世帯数と割合（平成 27 年 行政区別）

年次	一般世帯						1世帯当たり 人員(人)
	総数	世帯人員1人	2人	3人	4人	5人以上	
	実数						
北区	27,020	6,721	7,046	5,528	4,196	3,529	2.8
東区	55,492	16,917	15,733	10,870	7,683	4,289	2.4
中央区	88,399	40,688	21,799	13,201	8,881	3,830	2.0
江南区	23,627	4,822	6,575	5,098	4,151	2,981	2.8
秋葉区	26,854	5,710	7,398	5,713	4,605	3,428	2.8
南区	14,556	2,651	3,631	3,154	2,572	2,548	3.0
西区	66,753	23,208	17,841	11,807	8,938	4,959	2.4
西蒲区	18,327	3,264	4,600	3,875	3,272	3,316	3.1
	割合 (%)						
北区	100.0	24.9	26.1	20.5	15.5	13.1	
東区	100.0	30.5	28.4	19.6	13.8	7.7	
中央区	100.0	46.0	24.7	14.9	10.0	4.3	
江南区	100.0	20.4	27.8	21.6	17.6	12.6	
秋葉区	100.0	21.3	27.5	21.3	17.1	12.8	
南区	100.0	18.2	24.9	21.7	17.7	17.5	
西区	100.0	34.8	26.7	17.7	13.4	7.4	
西蒲区	100.0	17.8	25.1	21.1	17.9	18.1	

## 家族類型

### 単独世帯(1人世帯)が増加して32%を占め、核家族以外の世帯は減少して13%

一般世帯321,028世帯を家族類型別に見ると、核家族世帯が172,370世帯(一般世帯の53.7%)、核家族以外の世帯が41,920世帯(13.1%)、単独世帯が103,981世帯(32.4%)となりました。

推移を見ると、核家族の実数は増えているものの、全体における割合はほとんど変わっていません。単独世帯は実数も割合も大きく増加しています。

図6 一般世帯の家族類型別割合の推移(平成7年～平成27年)

(%)

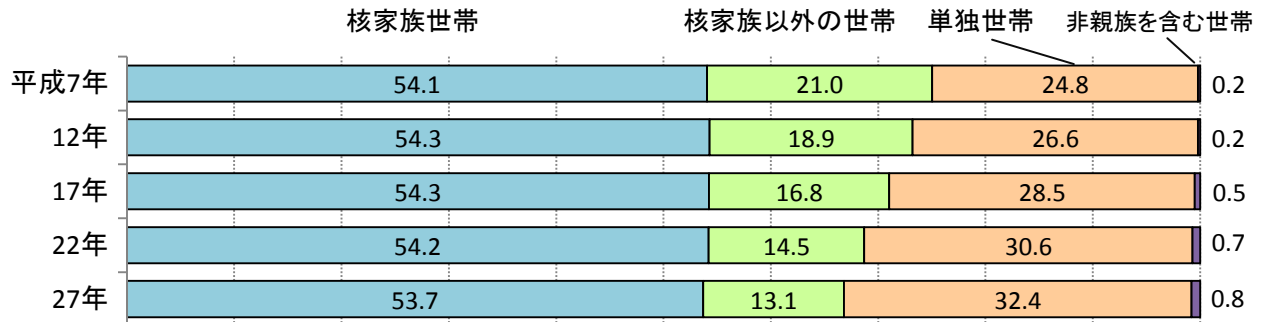


表6-1 世帯の家族類型別一般世帯数の推移(平成7年～平成27年)

年次	一般世帯 総数 1)	親族のみの世帯						核家族 以外の 世帯	単 独 世 帯	非親族 を含む 世帯
		総数	核家族世帯				核家族 以外の 世帯			
			総数	夫 婦 の み	夫婦と 子 供	男親と 子 供				
実 数										
平成 7年	263,585	197,778	142,515	40,414	83,875	2,319	15,907	55,263	65,286	521
12	281,424	205,967	152,879	47,615	84,360	2,742	18,162	53,088	74,837	620
17	296,554	210,759	161,012	52,257	83,902	3,258	21,595	49,747	84,407	1,388
22	312,159	214,300	169,056	56,903	84,633	3,657	23,863	45,244	95,505	2,262
27	321,028	214,290	172,370	59,403	84,228	4,018	24,721	41,920	103,981	2,409
構 成 比 ( % )										
平成 7年	100.0	75.0	54.1	15.3	31.8	0.9	6.0	21.0	24.8	0.2
12	100.0	73.2	54.3	16.9	30.0	1.0	6.5	18.9	26.6	0.2
17	100.0	71.1	54.3	17.6	28.3	1.1	7.3	16.8	28.5	0.5
22	100.0	68.7	54.2	18.2	27.1	1.2	7.6	14.5	30.6	0.7
27	100.0	66.8	53.7	18.5	26.2	1.3	7.7	13.1	32.4	0.8

1) 世帯の家族類型「不詳」を含む。

表6-2 世帯の家族類型別一般世帯数(行政区別 平成27年)

年次	一般世帯 総数 1)	親族のみの世帯						核家族 以外の 世帯	単 独 世 帯	非親族 を含む 世帯
		総数	核家族世帯				核家族 以外の 世帯			
			総数	夫 婦 の み	夫婦と 子 供	男親と 子 供				
北 区	27,020	20,105	15,235	4,810	7,690	427	2,308	4,870	6,721	155
東 区	55,492	37,998	31,838	10,699	15,309	775	5,055	6,160	16,917	523
中 央 区	88,399	46,771	40,883	15,310	18,884	817	5,872	5,888	40,688	794
江 南 区	23,627	18,581	14,465	4,652	7,557	347	1,909	4,116	4,822	201
秋 葉 区	26,854	20,986	15,847	5,214	7,994	389	2,250	5,139	5,710	142
南 区	14,556	11,798	8,107	2,421	4,270	236	1,180	3,691	2,651	87
西 区	66,753	43,084	36,010	13,123	17,431	752	4,704	7,074	23,208	418
西 蒲 区	18,327	14,967	9,985	3,174	5,093	275	1,443	4,982	3,264	89

1) 世帯の家族類型「不詳」を含む。



## 高齢世帯

### 65歳以上世帯員のいる世帯は一般世帯の4割以上

一般世帯全体(321,028世帯)における65歳以上の世帯員がいる一般世帯数は136,597世帯、割合は42.5%となりました。そのうち、1人暮らしの高齢者単独世帯は29,423世帯で21.5%、平成22年より6,369世帯増えました。また、核家族世帯は69,551世帯(50.9%)で、平成22年と比べ11,249世帯増加しています。

図7 世帯の家族類型別65歳以上世帯員のいる一般世帯の推移(平成12年～平成27年) (%)

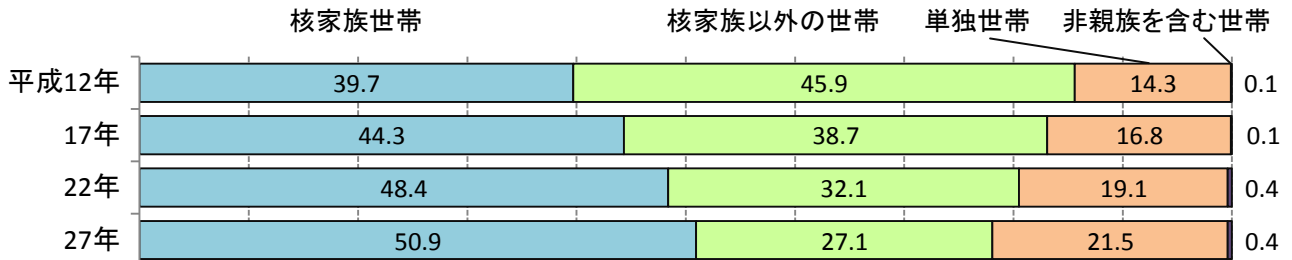


表7-1 65歳以上世帯員のいる家族類型別一般世帯数の推移(平成12年～平成27年)

家族類型	実数				割合(%)			
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
一般世帯総数	281,424	296,554	312,159	321,028				
65歳以上世帯員のいる一般世帯数	95,096	108,007	120,531	136,597	100.0	100.0	100.0	100.0
親族のみの世帯	81,400	89,703	96,994	106,596	85.6	83.1	80.5	78.0
核家族世帯	37,778	47,898	58,302	69,551	39.7	44.3	48.4	50.9
うち夫婦のみ	20,814	25,201	29,532	34,399	21.9	23.3	24.5	25.2
うち高齢夫婦 1)	19,459	23,846	28,264	32,671	20.5	22.1	23.4	23.9
うち夫婦と子供	9,812	13,006	16,461	19,967	10.3	12.0	13.7	14.6
うちひとり親と子供	7,152	9,691	12,309	15,185	7.5	9.0	10.2	11.1
核家族以外の世帯	43,622	41,805	38,692	37,045	45.9	38.7	32.1	27.1
単独世帯	13,638	18,196	23,054	29,423	14.3	16.8	19.1	21.5
非親族を含む世帯	58	108	483	578	0.1	0.1	0.4	0.4
一般世帯総数に占める								
65歳以上単独世帯の割合(%)	4.8	6.1	7.4	9.2				

1) 夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

表7-2 65歳以上世帯員のいる家族類型別一般世帯数(行政区別 平成27年)

家族類型	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
一般世帯総数	27,020	55,492	88,399	23,627	26,854	14,556	66,753	18,327
65歳以上世帯員のいる一般世帯数	13,035	23,684	29,803	11,423	14,042	7,585	26,456	10,569
親族のみの世帯	10,880	18,111	20,319	9,470	11,567	6,520	20,746	8,983
核家族世帯	6,588	12,718	15,272	5,805	6,920	3,208	14,537	4,503
うち夫婦のみ	3,006	6,214	7,985	2,737	3,264	1,336	7,828	2,029
うち高齢夫婦 1)	2,830	5,875	7,560	2,589	3,130	1,265	7,489	1,933
うち夫婦と子供	2,098	3,645	3,818	1,854	2,133	1,053	3,924	1,442
うちひとり親と子供	1,484	2,859	3,469	1,214	1,523	819	2,785	1,032
核家族以外の世帯	4,292	5,393	5,047	3,665	4,647	3,312	6,209	4,480
単独世帯	2,100	5,463	9,324	1,892	2,431	1,041	5,623	1,549
非親族を含む世帯	55	110	160	61	44	24	87	37
一般世帯総数に占める								
65歳以上単独世帯の割合(%)	7.8	9.8	10.5	8.0	9.1	7.2	8.4	8.5

1) 夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

## 配偶関係

### 未婚率は男性が31.7%、女性が23.7%

年齢別の配偶関係の割合の推移を見ると、未婚率は男女とも多くの年齢階級で上昇しており、平成22年と27年を比較すると、男性は45～49歳、女性は50～54歳の未婚率の上昇が最も大きくなっています。

高齢者の配偶関係では、85歳以上の男性の32.3%は妻と死別し、女性の78.4%は夫と死別しています。

離別の割合について、男女とも年々増加傾向にあります。

図8-1 配偶関係、男女別15歳以上人口の割合（平成17年～27年） 配偶関係「不詳」を除いて算出。（%）

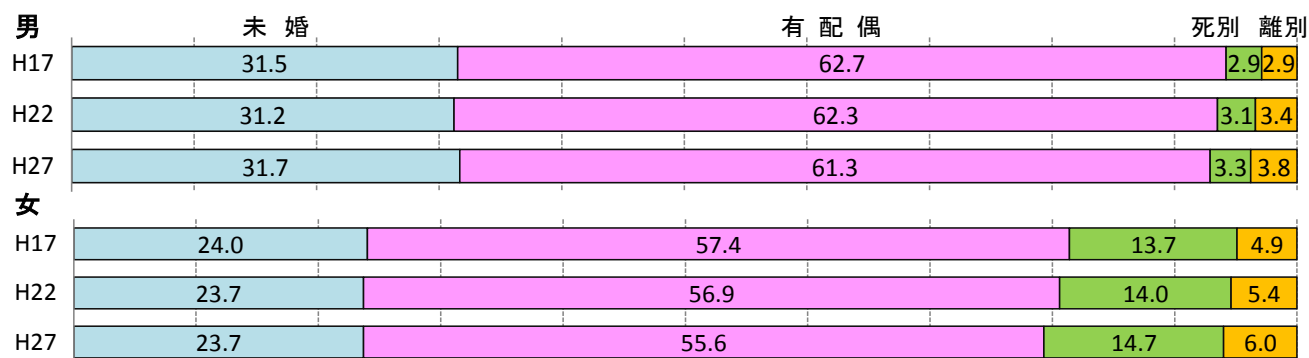


表8-1 年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口の配偶関係別割合（平成17年～27年）（%）

男女、年齢	未婚			有配偶			死別			離別		
	H17	H22	H27	H17	H22	H27	H17	H22	H27	H17	H22	H27
男	31.5	31.2	31.7	62.7	62.3	61.3	2.9	3.1	3.3	2.9	3.4	3.8
15～19歳	99.7	99.6	99.7	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	94.4	94.9	96.1	5.4	4.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1
25～29歳	69.7	70.8	72.5	29.2	28.2	26.7	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.8
30～34歳	44.7	45.3	46.2	52.9	52.5	51.7	0.1	0.1	0.1	2.3	2.1	2.0
35～39歳	32.1	33.7	34.8	64.3	62.8	61.9	0.1	0.1	0.1	3.5	3.5	3.2
40～44歳	22.4	28.7	28.8	73.2	66.2	66.7	0.3	0.3	0.2	4.0	4.8	4.3
45～49歳	17.8	21.6	26.7	77.2	73.0	67.2	0.6	0.5	0.4	4.4	4.9	5.7
50～54歳	14.0	17.5	20.8	80.2	76.2	72.1	1.2	0.9	0.8	4.6	5.4	6.3
55～59歳	9.3	14.1	16.9	83.7	78.6	75.1	1.9	1.8	1.5	5.2	5.5	6.4
60～64歳	4.7	9.1	13.4	87.9	82.4	77.8	3.0	2.7	2.7	4.4	5.8	6.2
65～69歳	2.8	4.6	8.8	88.9	86.3	81.5	4.6	4.6	4.0	3.6	4.5	5.7
70～74歳	1.8	2.8	4.2	88.8	87.2	85.0	7.2	6.5	6.6	2.3	3.5	4.2
75～79歳	1.1	1.4	2.6	85.6	86.4	84.6	12.0	10.0	9.7	1.3	2.2	3.0
80～84歳	0.7	0.9	1.5	79.9	80.6	81.7	18.7	17.3	15.1	0.7	1.2	1.8
85歳以上	0.4	0.6	1.0	62.2	64.6	65.9	36.7	34.0	32.3	0.7	0.7	0.8
女	24.0	23.7	23.7	57.4	56.9	55.6	13.7	14.0	14.7	4.9	5.4	6.0
15～19歳	99.5	99.5	99.6	0.4	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	90.5	91.7	93.5	9.0	7.8	6.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5
25～29歳	59.8	61.1	62.6	37.5	36.8	35.3	0.1	0.1	0.0	2.6	2.1	2.0
30～34歳	32.5	35.2	35.6	62.5	60.5	60.1	0.2	0.1	0.1	4.7	4.1	4.2
35～39歳	19.8	23.6	24.8	73.1	69.8	68.7	0.5	0.4	0.3	6.5	6.2	6.2
40～44歳	12.9	17.9	19.7	79.3	73.2	71.2	1.1	0.9	0.7	6.7	8.0	8.4
45～49歳	8.4	12.9	16.9	82.3	77.3	72.0	2.1	1.6	1.4	7.2	8.2	9.7
50～54歳	6.0	8.3	12.5	82.6	80.1	75.5	3.7	3.3	2.6	7.7	8.3	9.4
55～59歳	5.0	6.1	8.2	80.3	79.9	77.7	6.7	5.7	5.0	8.0	8.3	9.1
60～64歳	4.2	5.2	6.0	77.0	76.8	77.2	11.9	9.6	8.3	7.0	8.4	8.4
65～69歳	3.6	4.2	5.0	72.1	72.1	72.3	19.3	16.9	14.1	5.1	6.8	8.5
70～74歳	3.9	3.6	4.0	62.2	65.2	65.3	30.1	26.4	23.9	3.8	4.8	6.8
75～79歳	3.8	3.9	3.6	48.0	51.7	54.7	44.6	40.7	37.2	3.5	3.7	4.4
80～84歳	3.3	4.0	3.7	30.2	35.4	37.7	63.5	57.3	55.4	3.0	3.3	3.2
85歳以上	2.0	3.1	3.4	10.7	13.8	15.7	85.3	80.6	78.4	2.0	2.6	2.6

## 配偶関係(行政区別)

### 未婚の割合が高い区は中央区、有配偶の割合が高いのは江南区、秋葉区

未婚の割合が最も高いのが中央区で31.1%、続いて西区の28.9%です。有配偶の割合が最も高いのが江南区61.4%、続いて秋葉区61.1%。死別の割合は西蒲区が最も高く、離別の割合が最も高いのは東区でした。

図8-2 配偶関係、男女別15歳以上人口の割合(平成27年) 配偶関係「不詳」を除いて算出。(%)

	未婚	有配偶	死別	離別
新潟市	27.5	58.3	9.3	4.9
北 区	27.0	58.7	9.4	4.9
東 区	26.9	58.2	8.8	6.1
中央区	31.1	55.0	8.6	5.3
江南区	24.3	61.4	9.6	4.8
秋葉区	24.5	61.1	10.4	4.0
南 区	24.5	60.5	10.8	4.3
西 区	28.9	58.0	8.7	4.5
西蒲区	24.3	60.2	11.3	4.2

表8-2 年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口の配偶関係別割合(行政区別 平成27年) (%)

男女、年齢	未婚								有配偶							
	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲
男	31.8	31.0	33.8	28.8	29.1	29.6	33.7	29.4	61.0	61.2	59.3	63.6	64.2	62.7	60.0	63.1
15~19歳	99.4	99.8	99.4	99.9	99.8	99.7	99.7	99.9	0.5	0.1	0.6	0.1	0.2	0.3	0.3	0.1
20~24	95.8	93.7	97.0	93.6	95.2	94.3	97.7	95.9	4.2	6.1	2.9	6.0	4.7	5.4	2.2	4.0
25~29	72.4	68.6	75.3	69.4	72.9	72.8	71.4	78.2	26.4	30.3	24.0	29.6	26.4	26.3	28.0	21.2
30~34	48.0	44.0	47.2	43.9	46.9	45.9	45.7	51.1	50.3	53.9	51.0	53.2	51.1	51.3	52.4	46.7
35~39	36.6	35.0	36.6	31.5	33.7	37.3	32.1	38.4	60.1	61.4	60.4	64.3	63.5	59.0	64.8	58.3
40~44	30.3	30.8	29.2	26.7	27.9	27.1	27.6	28.6	64.5	64.2	67.2	67.8	67.9	66.7	68.5	66.7
45~49	28.5	27.7	26.7	27.2	25.3	25.8	25.9	25.3	64.0	65.2	68.5	65.4	69.1	67.6	68.2	68.3
50~54	20.2	23.0	21.0	19.5	21.1	19.2	20.6	18.7	71.8	68.9	72.8	70.9	72.7	73.5	73.4	73.9
55~59	17.7	17.6	17.9	16.9	16.1	16.3	16.1	15.7	74.6	72.6	74.7	75.1	76.8	76.3	76.3	76.3
60~64	11.5	14.5	16.0	11.8	14.1	10.6	13.0	11.5	79.3	75.0	73.9	79.9	79.0	81.8	78.9	80.5
65~69	7.4	9.4	11.9	7.5	7.3	8.2	8.4	6.6	84.2	79.3	76.7	83.5	84.6	83.2	82.1	85.1
70~74	4.2	4.5	5.6	3.4	3.1	2.7	3.8	4.2	85.6	84.0	81.7	86.3	87.4	85.0	87.1	84.9
75~79	2.6	3.2	2.8	2.2	1.6	2.9	2.7	2.5	83.9	83.1	82.9	85.2	87.9	84.5	85.3	86.6
80~84	1.3	1.9	2.0	1.1	0.8	1.1	1.4	1.1	82.0	80.9	79.9	81.6	83.7	81.8	82.6	82.4
85歳以上	0.6	1.0	1.2	1.1	0.7	0.7	1.1	1.1	65.2	66.6	67.7	63.0	65.6	58.3	69.3	61.8
女	22.7	23.1	28.7	20.1	20.4	19.8	24.5	19.6	56.5	55.5	51.1	59.3	58.4	58.5	56.1	57.5
15~19歳	99.3	99.6	99.5	99.5	99.8	99.8	99.9	99.6	0.7	0.3	0.4	0.4	0.2	0.2	0.1	0.4
20~24	93.1	91.2	95.9	90.9	91.4	90.6	94.9	92.6	6.3	8.4	3.8	8.1	7.8	8.8	4.6	7.1
25~29	62.8	57.6	67.5	57.2	61.3	59.8	62.5	67.5	34.6	39.8	31.0	40.8	36.2	38.0	35.8	29.5
30~34	35.5	34.3	39.8	32.1	34.7	32.0	34.0	37.3	59.6	60.5	56.9	63.7	60.8	63.7	61.5	58.0
35~39	23.3	24.6	29.1	20.6	23.2	23.2	23.4	25.2	68.0	67.2	65.8	72.9	71.0	70.3	70.4	68.6
40~44	18.2	19.9	23.9	16.9	18.6	16.4	18.9	15.2	70.5	68.7	68.1	74.5	72.7	74.8	73.1	75.7
45~49	13.6	17.7	21.2	14.8	15.5	11.9	16.1	13.0	73.4	69.5	67.7	75.3	74.8	79.2	73.0	77.1
50~54	9.0	12.8	17.3	9.2	11.7	7.2	13.1	7.7	79.8	71.2	69.8	79.3	78.7	83.4	75.6	82.9
55~59	5.3	7.5	13.9	5.6	6.3	5.0	9.0	4.4	81.1	75.7	70.1	83.2	81.5	81.7	77.4	84.2
60~64	4.3	6.7	10.9	3.2	4.4	3.7	5.5	3.6	80.5	74.6	69.7	81.3	81.4	81.2	78.1	81.5
65~69	3.0	4.6	9.5	3.1	3.8	2.8	4.8	2.5	74.1	70.2	65.3	77.0	77.4	76.1	73.4	76.9
70~74	1.9	3.2	7.2	2.8	3.2	3.1	3.9	2.3	67.1	65.0	59.8	69.2	67.4	64.3	67.6	66.2
75~79	2.3	3.4	5.9	2.4	3.0	2.0	3.7	2.1	55.9	53.4	51.4	55.0	58.7	55.5	56.4	55.2
80~84	3.5	3.4	6.1	3.0	2.3	2.2	3.7	1.7	37.3	37.3	34.7	34.3	39.8	38.3	41.0	38.8
85歳以上	2.4	3.5	5.0	3.0	1.9	2.1	4.0	2.4	15.6	16.2	14.6	15.4	16.4	17.4	15.7	15.1

## 外国人

### 新潟市の外国人人口は 22 年と比べほぼ横ばい。最も多い区は中央区、続いて西区

平成 27 年の外国人人口は 4,062 人で、総人口(810,157 人)に占める割合は 0.5%となりました。5 年前に比べると 33 人減少し、ほぼ横ばいです。男女別では、男性が 1,866 人(45.9%)、女性が 2,196 人(54.1%)で、5 年前と比べ男性は 50 人減少し、女性は 17 人増加しました。

国籍別で見ると、「中国」が 1,551 人(外国人の 38.2%)で最も多く、続いて「韓国, 朝鮮」が 836 人(20.6%)、「フィリピン」が 298 人(7.3%)でした。

行政区別で見ると、中央区が 1,321 人(32.5%)と最も多く、続いて西区が 856 人(21.1%)、東区 668 人(16.4%)となりました。

図 9-1 外国人の国籍別割合 (%)

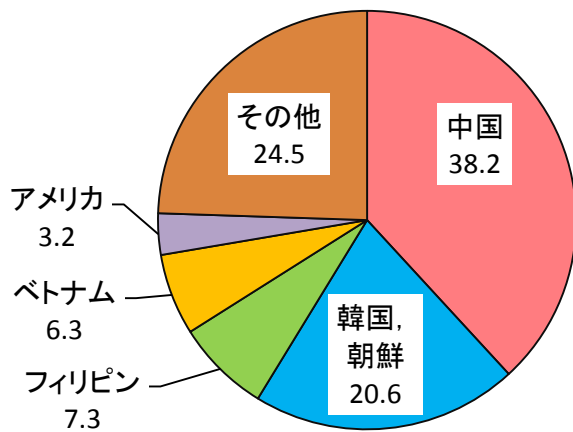


図 9-2 外国人の行政区別割合 (%)

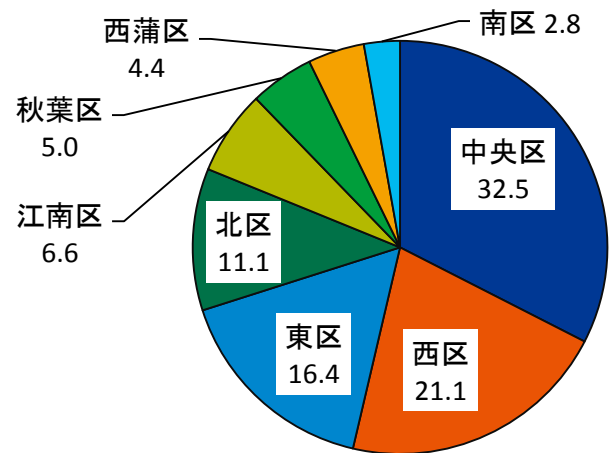


表 9-1 国籍、男女別外国人人口 (平成 17 年～平成 27 年)

年次	総数	男女		中国	韓国, 朝鮮	フィリピン	ベトナム	アメリカ	タイ	ブラジル	その他 <sup>1)</sup>	
		男	女									
人 口												
平成 17 年	3,343	1,645	1,698	1,174	976	244	12	105	47	83	702	
22	4,095	1,916	2,179	1,476	908	282	17	99	51	56	1,206	
27	4,062	1,866	2,196	1,551	836	298	254	128	69	62	864	
割 合 ( % )												
平成 17 年	100.0	49.2	50.8	35.1	29.2	7.3	0.4	3.1	1.4	2.5	21.0	
22	100.0	46.8	53.2	36.0	22.2	6.9	0.4	2.4	1.2	1.4	29.5	
27	100.0	45.9	54.1	38.2	20.6	7.3	6.3	3.2	1.7	1.5	21.3	

表 9-2 国籍、男女別外国人人口 (行政区別 平成 27 年)

年次	総数	男女		中国	韓国, 朝鮮	フィリピン	ベトナム	アメリカ	タイ	ブラジル	その他 <sup>1)</sup>
		男	女								
北 区	452	225	227	230	32	23	0	11	3	2	151
東 区	668	302	366	213	225	85	12	13	11	11	98
中 央 区	1,321	636	685	317	318	81	202	57	22	24	300
江 南 区	269	151	118	123	40	26	18	7	2	3	50
秋 葉 区	205	78	127	85	54	19	0	10	6	0	31
南 区	113	34	79	54	20	10	10	0	2	7	10
西 区	856	375	481	445	131	31	4	26	21	6	192
西 蒲 区	178	65	113	84	16	23	8	4	2	9	32

1) 無国籍及び国名「不詳」を含む。

## 新潟県内の人口

### 新潟市の人口は県全体の35%

新潟県内の市町村で比較すると、新潟市の人口は県内で最も多く、県人口の35.2%を占めています。

平成22年の人口と比較すると、人口が増加したところは、聖籠町(316人増)と粟島浦村(4人増)のみで、他の市町村はすべて減少しました。減少数が最も多かったのは長岡市で△7,541人、続いて上越市△6,912人、佐渡市△5,472人でした。

新潟市の人口は平成22年と比べ1,744人減少したものの、県内に占める割合は、前回調査の34.2%から今回35.2%に上がりました。

図10 新潟県内の市町村別人口割合（平成27年）

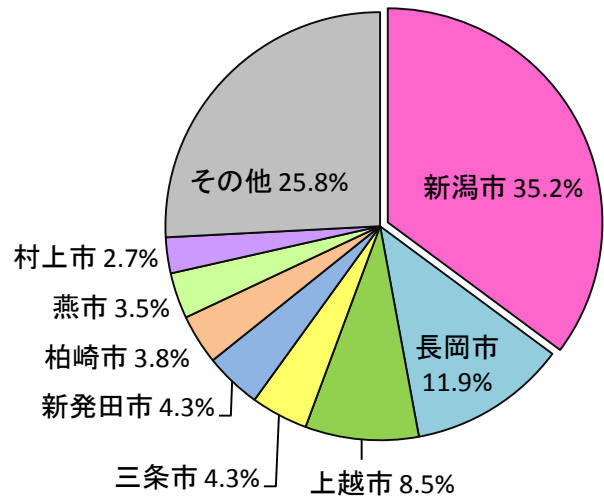


表10 新潟県内市町村の人口（平成27年・平成22年）

順位	市町村名	H27年	H22年	H22～H27年 増加数	H22～H27年 増加率(%)	H27年人口 割合(%)
	新潟県	2,304,264	2,374,450	△70,186	△3.0	100.0
1	新潟市	810,157	811,901	△1,744	△0.2	35.2
2	長岡市	275,133	282,674	△7,541	△2.7	11.9
3	上越市	196,987	203,899	△6,912	△3.4	8.5
4	三條市	99,192	102,292	△3,100	△3.0	4.3
5	新発田市	98,611	101,202	△2,591	△2.6	4.3
6	柏崎市	86,833	91,451	△4,618	△5.0	3.8
7	燕市	79,784	81,876	△2,092	△2.6	3.5
8	村上市	62,442	66,427	△3,985	△6.0	2.7
9	南魚沼市	58,568	61,624	△3,056	△5.0	2.5
10	佐渡市	57,255	62,727	△5,472	△8.7	2.5
11	十日町市	54,917	58,911	△3,994	△6.8	2.4
12	五泉市	51,404	54,550	△3,146	△5.8	2.2
13	糸魚川市	44,162	47,702	△3,540	△7.4	1.9
14	阿賀野市	43,415	45,560	△2,145	△4.7	1.9
15	見附市	40,608	41,862	△1,254	△3.0	1.8
16	魚沼市	37,352	40,361	△3,009	△7.5	1.6
17	小千谷市	36,498	38,600	△2,102	△5.4	1.6
18	妙高市	33,199	35,457	△2,258	△6.4	1.4
19	胎内市	30,198	31,424	△1,226	△3.9	1.3
20	加茂市	27,852	29,762	△1,910	△6.4	1.2
21	聖籠町	14,040	13,724	316	2.3	0.6
22	田上町	12,188	12,791	△603	△4.7	0.5
23	阿賀町	11,680	13,303	△1,623	△12.2	0.5
24	津南町	10,029	10,881	△852	△7.8	0.4
25	弥彦村	8,209	8,582	△373	△4.3	0.4
26	湯沢町	8,046	8,396	△350	△4.2	0.3
27	関川村	5,832	6,438	△606	△9.4	0.3
28	刈羽村	4,775	4,800	△25	△0.5	0.2
29	出雲崎町	4,528	4,907	△379	△7.7	0.2
30	粟島浦村	370	366	4	1.1	0.0

## 政令市の人口・世帯数

### 新潟市の人口は政令市の中で 15 番目

政令指定都市の人口を比べると、20 市の中で 1 位は横浜、2 位は大阪、3 位は名古屋、新潟は 15 位。最も人口が少ない市は静岡、続いて岡山、相模原の順となりました。

平成 22 年と比べ人口が減少となった市は、増加率の低い順に北九州、静岡、神戸、浜松、堺、新潟の 6 市。一方、福岡、川崎、仙台、さいたま、札幌は 2%以上の増加率となりました。

図 11-1 政令市 20 市の人口(平成 27 年)と増加率 (平成 22 年～平成 27 年)

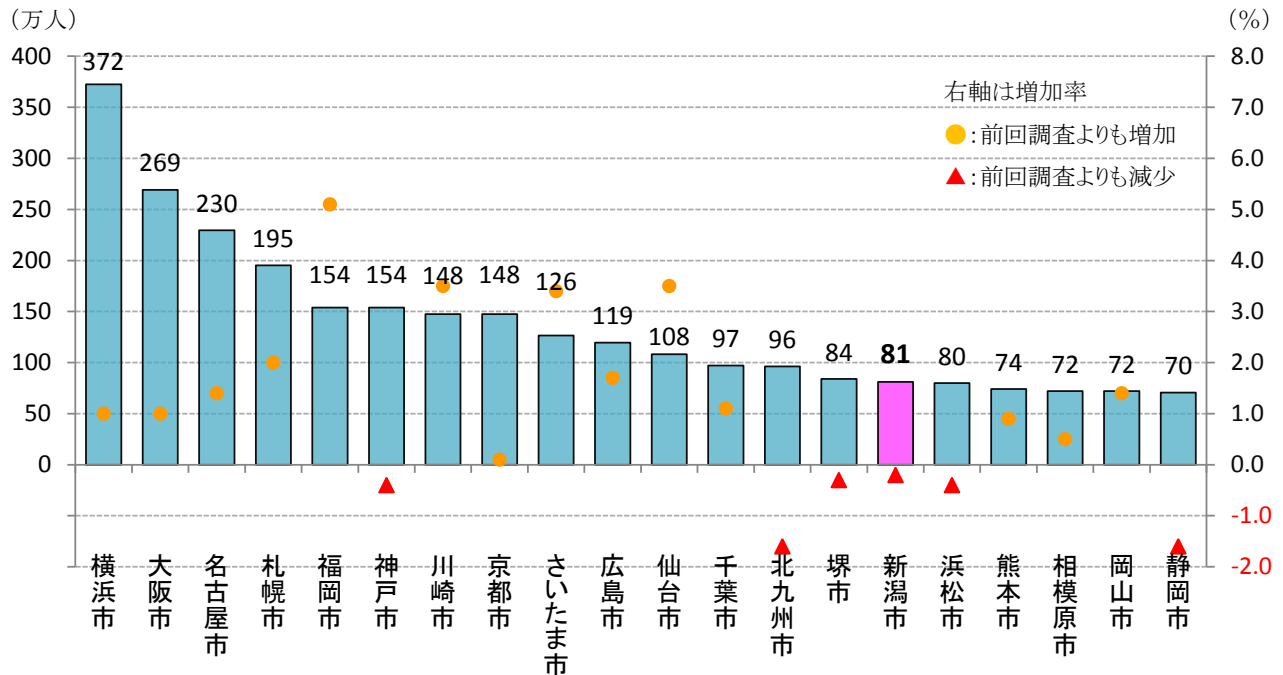


表 11 政令市の人口・世帯数 (平成 27 年)

順位	都市	人 口			世 帯 数		
		H27 人口	対前回 増加数	対前回 増加率 (%)	H27 世帯数	対前回 増加数	対前回 増加率 (%)
1	横浜市	3,724,844	36,071	1.0	1,645,618	61,729	3.9
2	大阪市	2,691,185	25,871	1.0	1,354,793	36,803	2.8
3	名古屋市	2,295,638	31,744	1.4	1,058,497	37,270	3.6
4	札幌市	1,952,356	38,811	2.0	921,837	35,989	4.1
5	福岡市	1,538,681	74,938	5.1	764,820	57,462	8.1
6	神戸市	1,537,272	△6,928	△0.4	705,459	21,276	3.1
7	川崎市	1,475,213	49,701	3.5	691,837	29,143	4.4
8	京都市	1,475,183	1,168	0.1	705,874	24,293	3.6
9	さいたま市	1,263,979	41,545	3.4	533,209	30,083	6.0
10	広島市	1,194,034	20,191	1.7	531,605	18,698	3.6
11	仙台市	1,082,159	36,173	3.5	498,953	33,693	7.2
12	千葉市	971,882	10,133	1.1	417,857	11,548	2.8
13	北九州市	961,286	△15,560	△1.6	426,325	5,623	1.3
14	堺市	839,310	△2,656	△0.3	350,301	5,836	1.7
15	新潟市	810,157	△1,744	△0.2	321,511	8,978	2.9
16	浜松市	797,980	△2,886	△0.4	309,227	8,783	2.9
17	熊本市	740,822	6,348	0.9	315,456	13,043	4.3
18	相模原市	720,780	3,265	0.5	311,188	8,386	2.8
19	岡山市	719,474	9,890	1.4	309,409	12,619	4.3
20	静岡市	704,989	△11,208	△1.6	286,013	6,994	2.5

## 政令市の年齢3区別の人口割合

### 新潟市の65歳以上の割合は政令市の中で高いほうから4番目

政令市における年齢3区別人口の割合を比較すると、65歳以上の人口の割合が最も高いのが北九州市で29.3%、最も低いのが川崎市で19.5%でした。

15歳未満人口の割合が最も高いのが広島市で14.2%、最も低いのが大阪市で11.2%でした。

新潟市の65歳以上の人口割合は高いほうから4番目で27.0%、15歳未満の人口割合は高いほうから15番目で12.2%、15歳～64歳の人口割合は高いほうから15番目で60.8%でした。

図 11-2 政令市 20 市の年齢 3 区分の人口割合(平成 27 年)

(%)

	15歳未満	15～64歳	65歳以上
北九州市	12.6	58.1	29.3
静岡市	12.2	59.3	28.6
神戸市	12.2	60.7	27.1
新潟市	12.2	60.8	27.0
堺市	13.6	59.5	26.9
京都市	11.3	62.0	26.7
浜松市	13.6	60.0	26.4
大阪市	11.2	63.6	25.3
札幌市	11.4	63.7	24.9
千葉市	12.7	62.4	24.9
岡山市	13.7	61.5	24.7
熊本市	14.1	61.7	24.2
名古屋市	12.5	63.3	24.2
相模原市	12.4	63.6	23.9
広島市	14.2	62.1	23.7
横浜市	12.7	64.0	23.4
さいたま市	13.2	64.0	22.8
仙台市	12.5	65.0	22.6
福岡市	13.3	66.0	20.7
川崎市	12.8	67.7	19.5

65歳以上人口の割合が高い順に掲載。割合は年齢不詳を除いて算出。

### ◆今後の公表予定

移動人口の男女・年齢等集計	平成 29 年 1 月
従業地・通学地による人口・就業状態等集計	平成 29 年 6 月
移動人口の就業状態等集計	平成 29 年 7 月

このほかの集計の公表予定は、総務省統計局のホームページでご確認ください。

### ◆調査結果を詳しく知りたい方はインターネットでご覧いただけます

平成 27 年国勢調査(総務省統計局) <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/>

平成 27 年国勢調査  
人口等基本集計結果の概要

平成 28 年 11 月発行

発行 新潟市

編集 新潟市総務部総務課

〒950-8550

新潟市中央区学校町通 1 番町 602 番地 1

電話 025-226-2413 (統計係直通)